

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	スズキ シゲヒロ 鈴木 滋彦 <平成32年4月>		農学博士		国立大学法人静岡大学副学長（国際戦略担当） （昭和53.6） 静岡県立農林環境専門職大学短期大学部学長 ※

※ 本学の学長は併設する静岡県立農林環境専門職大学短期大学部の学長を兼務するため、本学と静岡県立農林環境専門職大学短期大学部への従事割合を1：1とし、按分して月額基本給を算出し、記載している。

※ 本学と静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を兼務する教員については、月額基本給欄に()書きでその旨を記載の上、専任大学と兼任大学の従事割合を7:3とみなし、按分して月額基本給を算出し、記載している。

教員の氏名等													
(生産環境経営学部生産環境経営学科)													
前判定結果	調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職 (就任年月)	申請に係る 大学等の職務に 従事する週当たり 平均日数
	1	専	教授 (学部長)	タタラ アキオ 多々良 明夫 <平成32年4月>		博士(農学)		静岡学 応用昆虫学 県内農林業事情※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ プロジェクト研究	1通 2後 1前 4前 4後 4前 4後 4通	2 2 0.4 5 5 1 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	法政大学 生命科学部 応用植物科学科 教授 (平28.4)	5日
	①	専	教授	モリグチ タカヤ 森口 卓哉 <平成32年4月>		博士(農学)		園芸学※ 園芸学各論※ 農林業のための生物学 農と食の健康論※ 技術者倫理※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ プロジェクト研究	2後 3前 1前 2後 3前 4前 4後 4前 4後 4通	0.7 0.7 2 1.1 0.3 5 5 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 企画管理部 専門員 (平31.4)	5日
	②	専	教授	スケモリ セイジ 祐森 誠司 <平成32年4月>		農学博士		農林業のための化学 農林業生産理論※ 飼料総論 家畜飼養学 県内農林業事情※ 農学概論※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ プロジェクト研究	1前 1後 2前 2前 1前 1前 4前 4後 4前 4後 4通	2 0.5 2 2 0.4 0.1 5 5 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京農業大学 農学部 教養分野 教授 (平7.4)	5日
	③	専	教授	オウサカ オキヒロ 逢坂 興宏 <平成32年4月>		博士(農学)		農林業のための地学 森林土木学 森林計画・政策論※ 農業気象学※ 環境と農林業※ 情報処理基礎 情報処理応用 技術者倫理※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ プロジェクト研究	1後 2前 2前 2前 1後 1前 2後 3前 4前 4後 4前 4後 4通	2 2 0.9 0.3 0.4 1 1 0.4 5 5 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	静岡大学 農学部生物資源科学科 准教授 (平5.3)	5日
	④	専	教授	アマノ テソウ 天野 哲郎 <平成32年4月>		博士(農学)		農林業政策 経営戦略 農林業の経営組織論※ 農林業経営学※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ プロジェクト研究	1前 2前 3前 1前 4前 4後 4前 4後 4通	2 2 1.2 1.6 5 5 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター 新技術開発部 嘱託 (平31.4)	5日

※ 本学と静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を兼務する教員については、月額基本給欄に（ ）書きでその旨を記載の上、専任大学と兼任大学の従事割合を7：3とみなし、按分して月額基本給を算出し、記載している。

教員の氏名等														
(生産環境経営学部生産環境経営学科)														
前判定結果	調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	
	6	専	教授	キクチ ヒロユキ 菊池 宏之 <平成32年4月>		博士(学術)		フードシステム論	1後	2	1	流通マネジメント研究所代表 (平30.4)	5日	
							農と食の起業論	3後	2	1				
							経営管理論	1後	2	1				
							経営実習Ⅰ	4前	5	1				
							経営実習Ⅱ	4後	5	1				
							経営分析演習Ⅰ	4前	1	1				
							経営分析演習Ⅱ	4後	1	1				
							プロジェクト研究	4通	2	1				
	5	専	教授	カ(クリタ) レイカ 柯(栗田) 麗華 <平成33年4月>		博士(経営学)		マーケティング論	2後	2	1	静岡産業大学 情報学部教授 (平22.4)	5日	
							販売管理実習	3後	2	1				
							経営実習Ⅰ	4前	5	1				
							経営実習Ⅱ	4後	5	1				
							経営分析演習Ⅰ	4前	1	1				
							経営分析演習Ⅱ	4後	1	1				
							プロジェクト研究	4通	2	1				
	6	専	教授	マエダ セツコ 前田 節子 <平成32年4月>		博士(農学)		食文化論	2後	2	1	静岡英和学院大学短期大学部 食物学科教授(学科長) (平22.4)	5日	
							6次産業化実践論	3後	2	1				
							食品加工実習	3前	2	1				
							経営実習Ⅰ	4前	5	1				
							経営実習Ⅱ	4後	5	1				
							経営分析演習Ⅰ	4前	1	1				
							経営分析演習Ⅱ	4後	1	1				
							プロジェクト研究	4通	2	1				
	9	専	准教授	オオツカ マコト 大塚 誠 <平成32年4月>		博士(農学)		家畜衛生学	2後	2	1	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部 企画管理部 リスク管理室 上級研究員 (平23.4)	5日	
							生産マネジメント実習Ⅰ(畜産)	2後	4	1				
							生産マネジメント実習Ⅱ(畜産)	3通	4	1				
							経営実習Ⅰ	4前	5	1				
							経営実習Ⅱ	4後	5	1				
							経営分析演習Ⅰ	4前	1	1				
							経営分析演習Ⅱ	4後	1	1				
							プロジェクト研究	4通	2	1				
	7	専	准教授	ヒラオカ ユウイチロウ 平岡 裕一郎 <平成32年4月>		博士(農学)		統計学	1後	2	1	(株)ゆうライフサービス (平31.4)	5日	
							農林業生産理論※	1後	0.5	1				
							森林計画・政策論※	2前	0.4	1				
							県内農林業事情※	1前	0.4	1				
							農学概論※	1前	0.3	1				
							生産マネジメント実習Ⅰ(林業)	2後	4	1				
							生産マネジメント実習Ⅱ(林業)	3通	4	1				
							経営実習Ⅰ	4前	5	1				
							経営実習Ⅱ	4後	5	1				
							経営分析演習Ⅰ	4前	1	1				
							経営分析演習Ⅱ	4後	1	1				
							プロジェクト研究	4通	2	1				
	11	専	准教授	ナカヤマ マサノリ 中山 正典 <平成32年4月>		博士(地域社会システム)		歴史学概論	2前	2	1	磐田市文化財課 磐田市歴史文書館 嘱託 (平30.4)	5日	
							農林業史	1後	2	1				
							農山村田園地域公共学	1前	2	1				
							農村景域論	3前	2	1				
							経営実習Ⅰ	4前	5	1				
							経営実習Ⅱ	4後	5	1				
							経営分析演習Ⅰ	4前	1	1				
							経営分析演習Ⅱ	4後	1	1				
							プロジェクト研究	4通	2	1				

※ 本学と静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を兼務する教員については、月額基本給欄に（ ）書きでその旨を記載の上、専任大学と兼任大学の従事割合を7：3とみなし、按分して月額基本給を算出し、記載している。

教員の氏名等														
(生産環境経営学部生産環境経営学科)														
前判定結果	調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	
	⑧	専	准教授	ニワ ヤスオ 丹羽 康夫 <平成32年4月>		博士(理学)		分子生物学 在来作物学 生命科学※ 技術者倫理※ 農学概論※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ プロジェクト研究	1前 3前 1後 3前 1前 4前 4後 4前 4後 4通	2 2 1.3 0.4 0.3 5 5 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	静岡県立大学 食品栄養科学部 食品生命科学科 助教 (平3.10)	5日	
	13	専	准教授	ナイトウ ヒロタカ 内藤 博敬 <平成32年4月>		博士(学術)		食品科学 農と食の健康論※ 医福食農連携論※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ プロジェクト研究	2前 2後 2後 4前 4後 4前 4後 4通	2 0.9 1.3 5 5 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1	静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命科学科 助教 (平5.4)	5日	
	⑨	専	講師	オオタ サトシ 太田 智 <平成32年4月>		博士(農学)		生産マネジメント実習Ⅰ(栽培) 生産マネジメント実習Ⅱ(栽培) 生命科学※ 植物遺伝育種学概論※ 総合実習※ 圃場実習(栽培)※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ プロジェクト研究	2後 3通 1後 2後 1通 2前 4前 4後 4前 4後 4通	4 4 0.7 1.1 0.3 0.4 5 5 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 カンキツ研究領域 主任研究員 (平19.4)	5日	
	⑩	専	助教	アイソ(サナダ) ハルナ 相蘇(真田) 春菜 <平成32年4月>		博士(農学)		木質科学概論 演習林実習 総合実習※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ プロジェクト研究	2後 2前 1通 4前 4後 4前 4通	2 2 0.1 5 5 1 2	1 1 1 1 1 1	(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 木材加工・特性研究領域 組織材質研究室・日本学術振興会特別研究員 (平30.4)	5日	
	16	実専	講師	ナガフジ アキヒコ 長藤 亮彦 <平成33年4月>		農学士		大型機械実習Ⅰ 大型機械実習Ⅱ 農業気象学※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ	2前 3前 2前 4前 4後 4前 4後	4 2 0.3 5 5 1 1	2 1 1 1 1 1	静岡県農林技術研究所 農業ロボット・経営戦略科長 (昭60.4)	5日	
	⑪	実専	講師	オオイシ リュウ 大石 竜 <平成32年4月>		博士(農学)		生産マネジメント実習Ⅰ(栽培) 生産マネジメント実習Ⅱ(栽培) 農林業経営学※ 環境と農林業※ 総合実習※ 圃場実習(栽培)※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ プロジェクト研究	2後 3通 1前 1後 1通 2前 4前 4後 4前 4後 4通	4 4 0.1 0.3 0.1 0.4 5 5 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1	静岡県立農林大学校 教務課 養成班 主査 (平23.4)	5日	

※ 本学と静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を兼務する教員については、月額基本給欄に（ ）書きでその旨を記載の上、専任大学と兼任大学の従事割合を7：3とみなし、按分して月額基本給を算出し、記載している。

教員の氏名等														
(生産環境経営学部生産環境経営学科)														
前判定結果	調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	
	12	実専	講師	サダヒロ メグミ 貞弘 恵 <平成32年4月>		学士(獣医学)		家畜生理解剖学	2前	2	1	静岡県立農林大学校 教務課主査 (平29.4)	5日	
								環境保全型農林業論※	3前	0.3	1			
								企業実習	3後	10	1			
								生産マネジメント実習Ⅰ(畜産)	2後	4	1			
								生産マネジメント実習Ⅱ(畜産)	3通	4	1			
								圃場実習(畜産)	2前	2	1			
								GAP演習※	2前	0.3	1			
								総合実習※	1通	0.3	1			
								経営実習Ⅰ	4前	5	1			
								経営実習Ⅱ	4後	5	1			
								経営分析演習Ⅰ	4前	1	1			
								経営分析演習Ⅱ	4後	1	1			
								プロジェクト研究	4通	2	1			
	19	実(研)	教授	マツオ カズキ 松尾 和之 <平成32年4月>		博士(農学)		作物学	2前	2	1	(国研)国際農林水産業研究センター リスク管理室 再雇用職員 (平29.4)	5日	
								農林業のための先端技術	3前	2	1			
								農学概論※	1前	0.3	1			
								経営実習Ⅰ	4前	5	1			
								経営実習Ⅱ	4後	5	1			
								経営分析演習Ⅰ	4前	1	1			
								経営分析演習Ⅱ	4後	1	1			
								プロジェクト研究	4通	2	1			
	13	実(研)	教授	サトウ ノブキ 佐藤 展之 <平成32年4月>		博士(農学)		土壌肥料・植物栄養学※	2前	1.1	1	静岡県経済産業部 農業ビジネス課 専門職大学開学準備室 教務班 主任 (平29.4)	5日	
								園芸学※	2後	0.7	1			
								園芸学各論※	3前	0.7	1			
								収穫後生理学	3前	2	1			
								農林業生産理論※	1後	0.4	1			
								農業気象学※	2前	0.5	1			
								県内農林業事情※	1前	0.4	1			
								農学概論※	1前	0.1	1			
								経営実習Ⅰ	4前	5	1			
								経営実習Ⅱ	4後	5	1			
								経営分析演習Ⅰ	4前	1	1			
								経営分析演習Ⅱ	4後	1	1			
								プロジェクト研究	4通	2	1			
	14	実(研)	教授	トガワ マサユキ 外側 正之 <平成32年4月>		博士(農学)		植物病理学	2前	2	1	静岡県農林技術研究所 病害虫防除所 班長 (昭60.4)	5日	
								土壌肥料・植物栄養学※	2前	0.9	1			
								環境と農林業※	1後	1.3	1			
								農学概論※	1前	0.3	1			
								経営実習Ⅰ	4前	5	1			
								経営実習Ⅱ	4後	5	1			
								経営分析演習Ⅰ	4前	1	1			
								経営分析演習Ⅱ	4後	1	1			
								プロジェクト研究	4通	2	1			
	15	実(研)	教授	オザワ アキヒト 小澤 朗人 <平成32年4月>		博士(農学)		環境保全型農林業論※	3前	0.8	1	静岡県立農林大学校 教務課 研究班 主幹 (昭60.4)	5日	
								企業実習	3後	10	1			
								経営実習Ⅰ	4前	5	1			
								経営実習Ⅱ	4後	5	1			
								経営分析演習Ⅰ	4前	1	1			
								経営分析演習Ⅱ	4後	1	1			
								プロジェクト研究	4通	2	1			

※ 本学と静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を兼務する教員については、月額基本給欄に（ ）書きでその旨を記載の上、専任大学と兼任大学の従事割合を7：3とみなし、按分して月額基本給を算出し、記載している。

教員の氏名等														
(生産環境経営学部生産環境経営学科)														
前判定結果	調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に就事する週当たり平均日数	
	16	実(研)	教授	スギヤマ ケイタロウ 杉山 恵太郎 <平成32年4月>		博士(農学)		園芸学※ 園芸学各論※ 企業実習 農林業生産理論※ 県外農林業事情 海外農林業事情 県内農林業事情※ 農学概論※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ プロジェクト研究	2後 3前 3後 1後 2前 3前 1前 1前 4前 4後 4前 4後 4通	0.7 0.7 10 0.5 1 1 0.4 0.1 5 5 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	静岡県経済産業部 農芸振興課 野菜振興班長 (平4.4)	5日	
	17	実(研)	教授	イケダ キョヒコ 池田 潔彦 <平成33年4月>		博士(農学)		木材利用・流通論 木材加工実習※ 林業機械実習【隔年】 企業実習 木材生産システム※ 生産マネジメント実習Ⅱ(林業)※ 経営実習Ⅰ 経営実習Ⅱ 経営分析演習Ⅰ 経営分析演習Ⅱ プロジェクト研究	2後 3前 3・4前 3後 2後 3通 4前 4後 4前 4後 4通	2 0.9 2 10 0.3 2 5 5 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター 森林資源利用科長 (昭61.4)	5日	
	18	兼任	教授	タケウチ タカシ 竹内 隆 <平成32年4月>		農学士		技術者倫理※	3前	0.3	1	静岡県立農林大学校 教務課 主任 (平30.4)		
	26	兼任	教授	イナバ ゼンタロウ 稲葉 善太郎 <平成32年4月>		博士(農学)		植物遺伝育種学概論※ 農学概論※	2後 1前	0.9 0.1	1 1	静岡県農林技術研究所 伊豆農業研究センター わさび生産技術科 主任 (平31.4)		
	19	兼任	教授	スギヤマ ヤスユキ 杉山 泰之 <平成32年4月>		博士(農学)		GAP演習※ 農学概論※	2前 1前	1.3 0.1	1 1	静岡県経済産業部 農業局地域農業課 農産環境班長 (平3.4)		
	20	兼任	教授	コバヤシ シンイチ 小林 信一 <平成32年4月>		農学博士		技術者倫理※ 畜産法規 野生鳥獣管理・利用論 農林業経営学※	3前 3前 1後 1前	0.1 2 2 0.1	1 1 1 1	日本大学 生物資源科学部 動物資源科学科 教授 (平1.4)		
	21	兼任	教授	カタヤマ ノブヤ 片山 信也 <平成32年4月>		博士(獣医学)		環境保全型農林業論※ 技術者倫理※	3前 3前	0.5 0.3	1 1	静岡県畜産技術研究所 研究統括監 (昭60.4)		
	22	兼任	教授	コンドウ アキラ 近藤 晃 <平成32年4月>		農学修士		木材生産システム※ 造林学 農林業経営学※ 技術者倫理※ 森林計画・政策論※ 生産マネジメント実習Ⅱ(林業)※	2後 2前 1前 3前 2前 3通	1.3 2 0.1 0.3 0.7 0.5	1 1 1 1 1 1	静岡県西部農林事務所 天竜農林局 森林経営課 主任 (平30.4)		
	23	兼任	准教授	ナカネ タケン 中根 健 <平成32年4月>		農学士		生産マネジメント実習Ⅰ(栽培) 生産マネジメント実習Ⅱ(栽培) 圃場実習(栽培)※ 総合実習※	2後 3通 2前 1通	4 4 0.4 0.4	1 1 1 1	静岡県立農林大学校 教務課 養成班主幹兼副班長 (昭60.4)		
	24	兼任	准教授	ナカノ タクユキ 中野 敬之 <平成32年4月>		農学士		生産マネジメント実習Ⅰ(栽培) 生産マネジメント実習Ⅱ(栽培) 圃場実習(栽培)※ 総合実習※ 農業気象学※ 農学概論※	2後 3通 2前 1通 2前 1前	4 4 0.4 0.3 0.9 0.1	1 1 1 1 1 1	静岡県農林技術研究所 茶業研究センター 茶生産技術科長 (昭60.4)		

※ 本学と静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を兼務する教員については、月額基本給欄に（ ）書きでその旨を記載の上、専任大学と兼任大学の従事割合を7：3とみなし、按分して月額基本給を算出し、記載している。

教員の氏名等														
(生産環境経営学部生産環境経営学科)														
前判定結果	調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	
	33	兼任	准教授	ワタナベ タカユキ 渡邊 貴之 <平成32年4月>		学士(農学)		家畜育種繁殖学	2後	2	1	(独)家畜改良センター 本所 種畜課長補佐 (平10.4)		
								人工授精論	2後	2	1			
	(25)	兼任	准教授	ウガイ カズヒロ 鶴飼 一博 <平成32年4月>		修士(農学)		環境保全型農林業論※	3前	0.4	1	静岡県西部農林事務所 天竜農林局 治山課 林地 保全班長 (平7.4)		
								木材生産システム※	2後	0.3	1			
								生産マネジメント実習Ⅱ(林業)※	3通	1.4	1			
	35	兼任	准教授	ヨコタ シゲナガ 横田 茂永 <平成32年4月>		博士(農学)		食品流通論	3前	2	1	京都大学大学院農学研究 科生物資源経済学専攻 特定准教授 (平30.4)		
								コミュニティビジネス論	3後	2	1			
	(26)	兼任	講師	イミギ カオル 五十右 薫 <平成32年4月>		農学士		生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	2後	4	1	静岡県立農林大学校 教 務課 主任 (平30.4)		
								生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	3通	4	1			
								圃場実習(栽培)※	2前	0.4	1			
								総合実習※	1通	0.3	1			
	(27)	兼任	講師	マズダ トシヒコ 増田 壽彦 <平成32年4月>		高等学校卒		生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	2後	4	1	静岡県立農林大学校 技 監兼教務課長 (昭55.4)		
								生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	3通	4	1			
								圃場実習(栽培)※	2前	0.4	1			
								総合実習※	1通	0.5	1			
	(28)	兼任	講師	サカグチ リョウスケ 坂口 良介 <平成32年4月>		学士(農学)		生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	2後	4	1	静岡県立農林大学校 教 務課 主査 (平16.4)		
								生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	3通	4	1			
								圃場実習(栽培)※	2前	0.4	1			
								総合実習※	1通	0.5	1			
								GAP演習※	2前	0.3	1			
	39	兼任	講師	ヤマガ イツテツ 山家 一哲 <平成32年4月>		博士(農学)		生産マネジメント実習Ⅰ(栽培)	2後	4	1	静岡県農林技術研究所 果樹研究センター 果樹 生産技術科 上席研究員 (平15.4)		
								生産マネジメント実習Ⅱ(栽培)	3通	4	1			
								圃場実習(栽培)※	2前	0.4	1			
	34	兼任	講師	アオヤマ トウイチ 青山 東一 <平成32年4月>		高等学校卒		生産マネジメント実習Ⅰ(畜産)	2後	4	1	静岡県中遠農林事務所 農業振興部長 (昭55.4)		
								生産マネジメント実習Ⅱ(畜産)	3通	4	1			
								圃場実習(畜産)	2前	2	1			
	(29)	兼任	講師	ホシカワ タケシ 星川 健史 <平成32年4月>		修士(農学)		生産マネジメント実習Ⅰ(林業)	2後	4	1	静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター 森林資源利用科 主任研 究員 (平18.4)		
								木材加工実習※	3前	1.1	1			
								演習林実習	2前	2	1			
	42	兼任	講師	ヨシムラ チカシ 吉村 親 <平成32年4月>		修士(教育学)		農村社会論	1後	2	1	公益社団法人岩手県農業 公社 総務部 主査(岩手 県農林水産部農業振興課 へ出向中(主任担い手対 策専門員)) (平26.4)		
								グリーン・ツーリズム論	3前	2	1			
								農山村デザイン演習	2後	2	1			
								圃場実習(栽培)※	2前	0.4	1			
								医福食農連携論※	2後	0.7	1			
								農学概論※	1前	0.1	1			
	(30)	兼任	講師	イケガヤ アツシ 池ヶ谷 篤 <平成32年4月>		学士(農学)		食品加工実習	3前	2	1	静岡県農林技術研究所 加工技術科 主任研究 員 (平19.4)		
								販売管理実習	3後	2	1			
	44	兼任	講師	スズキ モトコ 鈴木 元子 <平成32年4月>		博士(文学)		英語Ⅰ	1前	2	1	静岡文化芸術大学文化 政策学部国際文化学科 教授 (平13.4)		
	45	兼任	講師	スズキ ケンジ 鈴木 健司 <平成32年4月>		修士(体育学)		保健体育Ⅰ	1通	2	1	SUZUKIフィットネス 代表 (平23.4)		
								保健体育Ⅱ	2通	2	1			
	46	兼任	講師	ミヤザキ(サトウ) リンコ 宮崎(佐藤) 倫子 <平成32年4月>		博士(理学)		農林業のための基礎数学	1前	2	1	静岡大学工学部数理シ ステム工学科教授 (平10.4)		

※ 本学と静岡県立農林環境専門職大学短期大学部を兼務する教員については、月額基本給欄に（ ）書きでその旨を記載の上、専任大学と兼任大学の従事割合を7：3とみなし、按分して月額基本給を算出し、記載している。

教員の氏名等														
(生産環境経営学部生産環境経営学科)														
前判定結果	調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	
	47	兼任	講師	イシガキ(ヒトスキ) ミカ 石垣(一杉) 美佳 <平成32年4月>		学士(法学)		簿記基礎 簿記応用	1前 1後	1 1	1 1	静岡産業大学経営学部特任講師 (平22.4)		
	48	兼任	講師	スズキ ヒロタカ 鈴木 浩孝 <平成32年4月>		博士(経済学)		経済学概論	1前	2	1	静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科准教授 (平21.4)		
	49	兼任	講師	イノ カツミ 飯野 勝己 <平成32年4月>		博士(文学)		コミュニケーション論	1前	2	1	静岡県立大学国際関係学部国際関係学科准教授 (平21.4)		
	50	兼任	講師	コバヤシ ミチオ 小林 道生 <平成32年7月>		博士(法学)		法学概論	1前	2	1	静岡大学人文社会科学部法学科教授 (平13.4)		
	51	兼任	講師	イワサキ トシユキ 岩崎 敏之 <平成32年10月>		工学修士		農林業のための物理学	1後	2	1	静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科准教授 (平28.4)		
	52	兼任	講師	イヤナギ ミキ 井柳 美紀 <平成32年10月>		博士(法学)		政治学概論	1後	2	1	静岡大学人文社会科学部法学科教授 (平23.4)		
	53	兼任	講師	ホン ソンウク 洪 性旭 <平成32年10月>		博士(学術)		社会学概論	1後	2	1	東京外国語大学国際関係研究所特別研究員 (平28.4)		
	54	兼任	講師	タカセ ナミ 高瀬 奈美 <平成32年10月>		Master of Arts (TESOL)		英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	1後 2前 2後	2 2 2	1 1 1	静岡大学情報学部非常勤講師 (平30.4)		
	55	兼任	講師	サトウ カズミ 佐藤 和美 <平成33年4月>		商学修士		管理会計 財務会計	3前 2前	1 2	1 1	静岡産業大学経営学部教授 (平14.4)		
	56	兼任	講師	タケノウチ ヒロフミ 竹之内 裕文 <平成33年7月>		博士(文学)		農と食の哲学	2前	2	1	静岡大学農学部生物資源科学科教授 (平18.4)		
	57	兼任	講師	ホソカワ ミツヒロ 細川 光洋 <平成33年10月>		修士(教育学)		文学概論	2後	2	1	静岡県立大学国際関係学部国際言語文化学科教授 (平27.4)		
	58	兼任	講師	ウエハラ カツヒト 上原 克仁 <平成33年10月>		博士(経済学)		労務管理 人材マネジメント	2後 3後	2 2	1 1	静岡県立大学経営情報学部経営情報学科准教授 (平29.4)		
	59	兼任	講師	シノハラ カズヒロ 篠原 和太 <平成33年10月>		修士(文学)		文明論	2後	2	1	静岡大学人文社会科学部社会学科教授 (平8.4)		
	60	兼任	講師	アオシマ ソウチ(トモコ) 青島 宗智(智子) <平成34年4月>		各種学校卒		茶道	3前	1	1	静岡県茶道連盟理事長 (平26.6)		
	61	兼任	講師	カワセ ノリタケ 川瀬 範毅 <平成34年4月>		農学士		華道	3前	1	1	静岡県立農林大学校教務課主任 (平26.4)		
	36	兼任	講師	シバガキ ヒロシ 柴垣 裕司 <平成34年7月>		博士(農学)		農林業の経営組織論※	3前	0.8	1	静岡大学農学部生物資源科学科准教授 (平5.10)		
	63	兼任	講師	オオニシ(ナカムラ) ユカ 大西(中村) 由香 <平成34年10月>		博士(理学)		知的財産権	3後	2	1	静岡大学イノベーション社会連携推進機構准教授 (平21.4)		

(生産環境経営学部生産環境経営学科)

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	採用根拠等
1	専	教授 (学部長)	タタラ アキオ 多々良 明夫 <平成32年4月>		静岡県立農林環境専門職大学教員定年規程 附則第2 静岡県立農林環境専門職大学(仮称)開学準備 委員会にて承認(平成30年10月17日)
①	専	教授	モリグチ タカヤ 森口 卓哉 <平成32年4月>		静岡県立農林環境専門職大学教員定年規程 附則第2 静岡県立農林環境専門職大学(仮称)開学準備 委員会にて承認(平成30年10月17日)
④	専	教授	アマノ テツロウ 天野 哲郎 <平成32年4月>		静岡県立農林環境専門職大学教員定年規程 附則第2 静岡県立農林環境専門職大学(仮称)開学準備 委員会にて承認(平成30年10月17日)
6	専	教授	キクチ ヒロユキ 菊池 宏之 <平成32年4月>		静岡県立農林環境専門職大学教員定年規程 附則第2 静岡県立農林環境専門職大学(仮称)開学準備 委員会にて承認(平成30年10月17日)
⑥	専	教授	マエダ セツコ 前田 節子 <平成32年4月>		静岡県立農林環境専門職大学教員定年規程 附則第2 静岡県立農林環境専門職大学(仮称)開学準備 委員会にて承認(平成30年10月17日)
11	専	准教授	ナカヤマ マサノリ 中山 正典 <平成32年4月>		静岡県立農林環境専門職大学教員定年規程 附則第2 静岡県立農林環境専門職大学(仮称)開学準備 委員会にて承認(平成30年10月17日)
19	実(研)	教授	マツオ カズユキ 松尾 和之 <平成32年4月>		静岡県立農林環境専門職大学教員定年規程 附則第2 静岡県立農林環境専門職大学(仮称)開学準備 委員会にて承認(平成30年10月17日)
⑬	実(研)	教授	サトウ ノブユキ 佐藤 展之 <平成32年4月>		静岡県立農林環境専門職大学教員定年規程 附則第2 静岡県立農林環境専門職大学(仮称)開学準備 委員会にて承認(平成30年10月17日)

実務の経験等を有する専任教員一覧								
(生産環境経営学部生産環境経営学科)								
番号	調書番号	実務家区分	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	実務経験 の年月数	実務経験の概要	
							期間	勤務先・役職名・ 主な職務内容等
1	16			実専 講師	ナガフジ アキヒコ 長藤 亮彦 <平成33年4月>	33年 6月	昭和60年4月 ～ 現在に至る	<p><静岡県職員></p> <ol style="list-style-type: none"> 静岡県東部農林事務所沼津班技師 <ul style="list-style-type: none"> 野菜栽培技術指導 静岡県東部農林事務所田方支所技師 <ul style="list-style-type: none"> 田方園芸研究会における栽培技術指導 養液栽培トマトの栽培技術指導 ニンジンのF1品種の選定試験、導入促進 静岡県農業水産部農政課、農政企画課技師 <ul style="list-style-type: none"> 県内農林水産物のPRイベント「しずおか大ふるさと祭」の開催 浙江省との農業交流 静岡県農政部茶業農産課技師、副主任 <ul style="list-style-type: none"> 米の生産調整 志太榛原農林事務所普及企画課副主任 <ul style="list-style-type: none"> 水稻の生産及び地域文化の振興を目指した普及指導計画の推進 レタスのマーケティング戦略推進 海外市場開拓のためのアンテナショップ開設のためイギリスへ派遣 農林水産部生産振興課主査 <ul style="list-style-type: none"> 海外市場の開拓 静岡県経済農業協同組合連合会西部支所農産課係長 <ul style="list-style-type: none"> 青果物の集荷売立を推進 静岡県西部農林事務所技術支援課主任 <ul style="list-style-type: none"> エコファーマーの認定推進による地場野菜産地の活性化 静岡県立農林大学校掛川機械研修場主査 <ul style="list-style-type: none"> 農業機械士研修における技術指導 機械利用技術者の育成及び適正な運転免許の取得指導 静岡県東部農林事務所生産振興課主任 <ul style="list-style-type: none"> 農薬安全使用指導 I PM技術導入指導 イチゴ品種転換技術指導 イチゴのパッケージセンターの作業効率の改善指導 農薬残留防止のための動力噴霧器の洗浄方法の指導 静岡県立農林大学校教務課主査、主幹 <ul style="list-style-type: none"> 園芸学科野菜コースの学科及び実習教育指導 先進経営研修の指導 農業機械安全使用の徹底指導 静岡県経済産業部農業振興課主幹 <ul style="list-style-type: none"> 農業革新支援専門員として普及活動の推進、普及指導員研修を実施 国の研修指導マニュアルを作成 園芸施設の台風による強風対策技術マニュアルを作成 志太榛原農林事務所生産振興課班長 <ul style="list-style-type: none"> レタスの機械化体系の整備による生産規模の拡大技術を指導 レタス栽培の規模拡大と法人化を指導 静岡県農林技術研究所経営・生産システム科長、農業ロボット・経営戦略科長 <ul style="list-style-type: none"> 農業機械研究の総括 農業経営研究を推進 イチゴパッキングセンターのIEを活用した作業改善の実践

実務の経験等を有する専任教員一覧

(生産環境経営学部生産環境経営学科)

番号	調書 番号	実務家 区分	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	実務経験 の年月数	実務経験の概要		大学等における教員 歴、保有学位又は企 業等における研究上 の業績の概要
							期間	勤務先・役職名・ 主な職務内容等	
2	⑪			実専 講師	オオイシ リュウ 大石 竜 <平成32年4月>	7年 6月	平成23年4月 ～ 現在に至る	<p><静岡県職員></p> <ol style="list-style-type: none"> 静岡県立農林大学校教務課技師 ・園芸学科野菜コース担任として生産実習や卒業論文作成の指導 ・野菜生産を行うサークル活動の指導 静岡県経済産業部農林業局畜産課技師、主任 ・自給飼料生産の推進 ・畜産経営支援制度担当 静岡県西部農林事務所企画経営課主任 ・新規就農に向けた研修制度、就農計画作成支援 ・ビジネス経営体育成のため、農業経営戦略講座の企画実施、法人化の推進 静岡県西部農林事務所園芸畜産課（中遠農林事務所企画経営課兼務）主任 ・経営支援チームの野菜担当として、管内の大規模野菜生産経営体の支援 静岡県西部農林事務所企画経営課主任 ・農業経営体に対する技術指導、経営計画作成、補助事業活用等に関する支援 	
3	⑫			実専 講師	サダヒロ メグミ 貞弘 恵 <平成32年4月>	10年 6月	平成20年4月 ～ 現在に至る	<p><静岡県職員></p> <ol style="list-style-type: none"> 静岡県中遠農林事務所家畜衛生課技師 ・獣医職として家畜衛生業務に従事 ・抗体検査を活用したサルモネラ対策の実施 静岡県志太榛原農林事務所家畜検査班技師、主任 ・家畜検査班の細菌担当として、家畜疾病の病性鑑定（原因究明）を実施 ・細菌培養と並行して遺伝子検査による細菌病の迅速診断ができる体制を構築 ・ワクチンプログラム作成による豚丹毒対策の実施 ・実習形式の新規採用職員技術研修会の実施 ・ディスカッションを導入した病性鑑定事例検討会を実施 中遠農林事務所家畜衛生課主任 ・豚流行性下痢の防疫対応 静岡県立農林大学校主任、主査 ・畜産学科1年生の担任として、講義、実習、進路指導を実施 ・採卵鶏の飼養実習、販売実習を導入 ・インターンシップなど体験型学習を導入 	

実務の経験等を有する専任教員一覧

(生産環境経営学部生産環境経営学科)

番号	調書 番号	実務家 区分	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	実務経験 の年月数	実務経験の概要		大学等における教員 歴、保有学位又は企 業等における研究上 の業績の概要
							期間	勤務先・役職名・ 主な職務内容等	
4	19	実(研)	実(研)	教授	マツオ カズユキ 松尾 和之 <平成32年4月>	38年 6月	昭和55年4月 ～ 現在に至る	<p>1 農林水産省東北農業試験場農業技術部研究官 ・研究テーマ「寒冷地畑雑草の発生生態の解明」「科学的・生態的手法による雑草防除技術の開発」「大豆の機械化移植栽培技術の開発」</p> <p>2 農林水産省農業研究センター耕地利用部研究官、主任研究官 ・研究テーマ「家畜糞連用下での物質循環の適正化と家畜糞機能の解明」「耕起法改善による持続的畑作物生産」</p> <p>3 農林水産省国際農林水産業研究センター東北タイプロジェクト ・長期派遣研究者としてタイへ ・コンケン畑作研究センターおよびコンケン大学農学部と共同で東北タイ畑作地帯の持続的土地利用に関する研究を実施 ・研究テーマ「耕起法改善によるサトウキビ生産の安定化」「深根性植物および家畜糞を活用した砂質土壌生産力の回復」</p> <p>4 農業技術研究機構中央農業研究センター東海大豆研究チーム長 ・東海三県のダイズ栽培研究のとりまとめ ・研究テーマ「浅耕播種栽培による東海地域大豆生産の安定化」</p> <p>5 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター水田輪作研究チーム上席研究員 ・若手研究者の指導 ・研究テーマ「大規模水田経営システムの開発」</p> <p>6 独立行政法人国際農林水産業研究センター生産環境畜産領域主任研究員 ・農村活性化プログラムのインドシナ農山村プロジェクトと農山村資源活用プロジェクトにおいて研究活動 ・ラオス国農林水産省国立農林業研究所長期派遣</p> <p>7 独立行政法人国際農林水産業研究センターインドシナ農山村プロジェクト副プロジェクトリーダー、プロジェクトリーダー ・インドシナ半島の中山間農村での生計向上を目指し、ラオス国との調整、研究者等の指導 ・研究テーマ「ラオス中山間地水田高度利用のための安定生産技術の開発」 ・情報技術の標準化による農業経営情報評価手法の開発</p> <p>8 国立研究開発法人国際農林水産業研究センター農山村資源活用プロジェクト ・研究テーマ「低地水田システムの生産性改善のための制約要因の克服」</p> <p>9 国立研究開発法人国際農林水産業研究センターリスク管理室 ・薬品管理システムの運用管理、SDS（安全データシート）の収集、簡易SDSの作成 ・東南アジアやアフリカにおける作物生産、土壌管理を研究対象とする若手研究者に対する助言</p>	<p>保有学位：博士（農学）</p> <p><大学等における教歴> ・平成11年5月～平成14年2月 タイ国コンケン大学農学部の学生への卒業論文指導</p> <p><特許> 平成7年6月21日「シストセンチュウの駆除法及び孵化促進剤」特許第2896486号</p>

実務の経験等を有する専任教員一覧

(生産環境経営学部生産環境経営学科)

番号	調書 番号	実務家 区分	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	実務経験 の年月数	実務経験の概要		大学等における教員 歴、保有学位又は企 業等における研究上 の業績の概要
							期間	勤務先・役職名・ 主な職務内容等	
5	⑬	実(研)	実(研)	教授	サトウ ノブユキ 佐藤 展之 <平成32年4月>	37年 6月	昭和56年4月 ～ 現在に至る	<p><静岡県職員></p> <ol style="list-style-type: none"> 静岡県西部農業改良普及所技師 ・野菜担当として、農業指導・地域づくりを担当 ・ネダニ防除のためJAと防除試験に取組 静岡県西部農林事務所技師 ・野菜担当として、農業指導・地域づくりを担当 ・ミナミキイロアザミウマの防除対策、土壌診断 静岡県農業試験場施設部技師 ・温室メロン栽培の省エネのため、アクリル複層板温室の導入を検討 ・静岡県立農林短期大学の学生指導 静岡県農業試験場園芸部技師、副主任、主任研究員 ・アクリル複層板温室の省エネ効果に対する研究 ・温室メロン栽培における補光技術を中部電力と共同研究 ・温室メロン栽培のかん水自動化を研究 ・静岡県立農林短期大学の学生指導 静岡県農林水産部生産振興課、生産振興総室野菜花き室主査 ・県内農業団体の集出荷施設の整備 ・生産者を対象とした野菜振興講演会の主催 ・イチゴ栽培における高設養液栽培の普及 静岡県農業試験場園芸部主任研究員、研究主幹 静岡県農林技術研究所栽培技術部研究主幹 ・バラ栽培におけるヒートポンプの利用について、中部電力等と共同研究を実施 ・静岡県立農林大学の学生指導 静岡県農林技術研究所野菜科科長 ・トマトにおけるドライミストの効果について研究 ・温室内の飽差によりドライミストのオン・オフを制御する装置を試作 静岡県農林水産部みかん園芸課課長代理 ・野菜および花き担当の農業革新支援専門員として、農業普及指導員の研修の実施、普及指導計画の助言指導 静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センター長 ・研究センターの運営 ・国庫補助の実用化技術開発事業のメンバーとして、花きのEODクーリングに関する試験を指導 静岡県農林技術研究所果樹研究センター研究統括監 ・試験研究課題の推進実行管理と果樹研究の取りまとめ ・無人航空機の果樹栽培への利用技術開発 ・追尾式作業補助ロボット等を外部企業とのコーディネートを行い試作品を完成 静岡県立農林大学校教務課主任 ・静岡県立農林大学の学生指導 ・新規ハウスの組み立て実習を実施 ・オランダ海外研修の引率 	<p>保有学位：博士（農学）</p> <p><研究実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成16年度～平成18年度 農水省：農林水産研究高度化事業補助金「間欠給肥法で排出肥料を大幅削減できるバラ養液栽培システムの開発」 平成21年度～平成23年度 農水省：新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業補助金「ドライミストを核とした施設園芸における夏期高温対策技術の確立」 平成28年度 農水省：革新的技術開発・緊急展開事業補助金「果実生産の大幅な省力化に向けた作業用ロボット及び新樹形の開発」 <p><受賞歴></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年9月 日本生物環境工学会論文賞「空気熱源式ヒートポンプと燃焼式温風暖房機とのハイブリッド運転によるバラ栽培の暖房費削減効果」 平成21年3月 静岡県知事職員表彰「バラ栽培におけるヒートポンプの効率的な利用法の開発および普及」 <p><特許></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成19年11月「花卉の日持ち性判定装置及び方法」特開2004-301638 平成19年9月「養液栽培における培地温度の制御方法及び制御システム」特開2007-244242 平成27年2月「空気熱源ヒートポンプエアコン及びその運転方法」特開2011-237162

実務の経験等を有する専任教員一覧

(生産環境経営学部生産環境経営学科)

番号	調査 番号	実務家 区分	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	実務経験 の年月数	実務経験の概要		大学等における教員 歴、保有学位又は企 業等における研究上 の業績の概要
							期間	勤務先・役職名・ 主な職務内容等	
6	⑭	実(研)	実(研)	教授	トガワ マサユキ 外側 正之 <平成32年4月>	33年 6月	昭和60年4月 ～ 現在に至る	<p><静岡県職員></p> <ol style="list-style-type: none"> 静岡県伊豆振興センター南伊豆農場技師 ・伊豆特産農作物の病害虫に関する防除技術の開発と指導 ・病害虫診断検索票の作成、配布 静岡県柑橘試験場技師、副主任 ・キウイフルーツのかいよう病の研究 ・カキの「擬似炭疽病」学会報告 ・大阪府立大学との共同研究（イチジクのPhytophthora属菌による病害） ・静岡県立農林短期大学の学生指導 静岡県中部農林事務所中部病害虫防除所副主任 ・野菜等の病害虫調査と防除指導 ・農業安全使用の指導 静岡県農業試験場病害虫防除所副主任 ・新任職員への指導 ・農作物の病害虫調査、防除指導 静岡県農業試験場病害虫部副主任、主任 研究員 ・ネギ、新興アブラナ科野菜の新病害に関する研究 ・トルコキキョウのFusarium病の研究 ・還元土壌消毒法を静岡県に導入 ・静岡県立農林大学の学生指導 静岡県立農林技術研究所茶業研究センター主任研究員、上席研究員 ・輪斑病のQoI剤薬剤耐性や細菌病の研究 ・（独）農研機構と共同で血清学的診断法の開発 ・静岡大学と共同で遺伝子学的手法による検出法の開発 ・愛知県人間環境大学にて非常勤講師として講義を実施 ・静岡県立農林大学の学生指導 静岡県農林技術研究所病害防除所班長 ・新任職員への指導 	<p>保有学位：博士（農学）</p> <p><大学での教歴></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年度～現在に至る <p>静岡大学における社会人向け講座「静岡農業ビジネス企業人材育成講座」にて、「病虫害防除学」、「植物保護学特論」</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年度～平成29年度 <p>静岡大学や静岡県立大学の理系学生に対するインターンシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26、27年度 <p>人間環境大学にて非常勤講師「防除と共存」</p> <p><研究業績></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成18～20年度 <p>「環境に配慮したワサビにおける総合的作物管理システムの確立」</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹木医静岡県支部メンバー 県内の天然記念物等に指定されている樹木の維持管理に関する調査を実施

実務の経験等を有する専任教員一覧

(生産環境経営学部生産環境経営学科)

番号	調書 番号	実務家 区分	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	実務経験 の年月数	実務経験の概要		大学等における教員 歴、保有学位又は企 業等における研究上 の業績の概要
							期間	勤務先・役職名・ 主な職務内容等	
7	⑮	実(研)	実(研)	教授	オザワ アキヒト 小澤 朗人 <平成32年4月>	33年 6月	昭和60年4月 ～ 現在に至る	<p><静岡県職員></p> <ol style="list-style-type: none"> 静岡県農業試験場園芸部技師 <ul style="list-style-type: none"> ・新野菜の栽培技術の開発 ・温室メロンの自動灌水装置の開発 静岡県農業試験場病害虫部技師 <ul style="list-style-type: none"> ・発生予察及び水稲害虫の研究 ・静岡県立農林短期大学の学生指導 静岡県中遠農林事務所農産園芸課兼病害虫防除所技師 <ul style="list-style-type: none"> ・発生予察及び農薬安全指導 ・天敵利用技術の情報収集を行うためオランダ、イギリスへ派遣研修 静岡県農業試験場病害虫部副主任 <ul style="list-style-type: none"> ・野菜、花卉類の害虫担当として病害虫同定診断や営農相談 ・新たな農薬の登録促進に向けた新農薬実用化連絡試験を受託と有効薬剤の登録支援 ・農業環境技術研究所 天敵生物研究室に依頼研究員として派遣 ・静岡県立農林短期大学の学生指導 静岡県茶業試験場主任研究員 <ul style="list-style-type: none"> ・チャ病害に関する研究業務、殺菌剤の新農薬実用化試験を実施 静岡県農林技術研究所茶業研究センター主任研究員、上席研究員 <ul style="list-style-type: none"> ・農水省委託事業「「やぶきた」を中心とする温暖地茶園における生物機能を活用した減農薬病害虫防除技術の体系化と実証」 ・農水省委託事業「東海温暖地チャ園における土着天敵類の環境保全型農法と関連した生物多様性の指標生物の選抜」 ・病害虫研究分野の総括、後進研究者の育成 ・農水省委託事業「調査実施基準案(茶のチャトゲコナジラミ)の実証」 ・病害虫ストレスの制御技術による香気の強化 ・農水省委託事業「国内需要向け茶生産における高収益生産体系の実証研究」 ・「ふじのくに農水産物の品質競争力向上と輸出拡大技術の開発」「無人航空機による樹園地の超省力精密生産管理システムの開発」に参画 ・茶生産者等からの病害虫の同定診断依頼や営農相談 ・新農薬登録促進のための新農薬実用化連絡試験 静岡県立農林大学校教務課主幹 <ul style="list-style-type: none"> ・研究部1年生の担当として講義や卒業研究の指導 ・インターンシップの調整・指導 	<p>保有学位：博士（農学）</p> <p><大学等における教歴></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成16年4月～平成17年3月他 韓国や中国から派遣された研修生への指導 ・平成24、25、27年度 静岡大学農学部で開講されている農業ビジネス企業人育成コース「害虫防除学特論」の一部を担当 <p><研究業績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成14～15年度 農林水産省助成事業・先端技術等地域実用化研究促進事業「茶害虫クワシロカイガラムシの環境保全型防除技術の実用化」 ・平成24年度 静岡県新成長戦略研究「新たな政策課題対応型」緊急対応研究 「侵入害虫チャトゲコナジラミの県内茶園における急激な分布拡大対策」 <p><受賞歴></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年11月 The 3rd International Conference on 0-CHA(Tea) Culture and Science 優秀ポスター賞 「ハマキガ類に対する交信攪乱フェロモン剤を活用したIPMによるクワシロカイガラムシの生物的防除(英文)」(単著) ・平成20年11月 日本茶業技術協会(現・日本茶業学会) 茶業技術賞 「クワシロカイガラムシの環境保全型防除技術に関する研究」 ・平成24年3月 県職員・知事表彰(個人の部) 「茶の難防除害虫クワシロカイガラムシの環境保全型防除技術」 ・平成25年11月 The 5th International Conference on 0-CHA(Tea) Culture and Science 優秀ポスター賞 「チャの新芽におけるチャノミドリヒメヨコバイの加害によって誘導されるジオール(2,6-dimethylocta-3,7-diene-2,6-diol)の生成に及ぼす諸要因-1(英文)」

実務の経験等を有する専任教員一覧

(生産環境経営学部生産環境経営学科)

番号	調書 番号	実務家 区分	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	実務経験 の年月数	実務経験の概要		大学等における教員 歴、保有学位又は企 業等における研究上 の業績の概要
							期間	勤務先・役職名・ 主な職務内容等	
8	⑩⑬	実(研)	実(研)	教授	スギヤマ ケイタロウ 杉山 恵太郎 <平成32年4月>	26年 6月	平成4年4月 ～ 現在に至る	<p><静岡県職員></p> <p>1 静岡県農業試験場生物工学部技師 ・生物工学的技術(主に組織培養苗)を用いた技術開発 ・種子の長期保存が困難とされている県内特産物の実用的な保存法の開発</p> <p>2 志太榛原農林事務所普及企画課技師 ・野菜の生産振興、技術指導 ・管内の野菜を市場流通から加工業務向けに増産推進</p> <p>3 静岡県農業試験場技師、副主任 ・経営評価手法、直売所の成立要因、消費者ニーズの評価手法等の研究 ・イチゴ新品種の販売戦略 ・天敵寄生蜂等を利用した防除技術の普及 ・施設野菜のIPM技術の開発</p> <p>4 静岡県農業試験場(現:農林技術研究所)病害防除所主任研究員、上席研究員 ・果樹の業害虫の発生予察 ・農協、県農林事務所技術員を対象とした講習会の実施</p> <p>5 静岡県経済産業部農林業局みかん園芸課、農芸振興課主査 ・施設園芸の施設内環境の制御に関する研究グループを作り、環境モニタリング装置を利用した生産向上のための生産技術指導体制を整備 ・施設園芸における太陽光発電普及 ・県内外の先端技術を紹介する講演会を企画</p> <p>6 静岡県経済産業部農芸振興課野菜振興班班長 ・いちご産地の栽培技術を見える化するAIによる学習支援システムの開発、普及 ・国庫「次世代施設園芸地域展開促進事業」の実施 ・県単独事業「施設園芸大国しずおか構造改革緊急対策事業」創設</p>	<p>保有学位:博士(農学)</p> <p><海外研修受講></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年9～10月 カナダ、アメリカの国、大学の研究機関を訪問し、「食の安全性確保」と「環境負荷低減」を目指した病害虫防除技術の研修を受講 カナダ:PARC(太平洋農業・食物研究センター)、SCPFRC(南部作物保護・食物研究センター)、GPCRC(温室・作物栽培研究センター)、カナダ温室協議会 アメリカ:アメリカ農務省ARS(農業研究サービス)、UCLA大学リバーサイド校

実務の経験等を有する専任教員一覧

(生産環境経営学部生産環境経営学科)

番号	調査番号	実務家区分	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	実務経験 の年数	実務経験の概要		大学等における教員 歴、保有学位又は企 業等における研究上 の業績の概要
							期間	勤務先・役職名・ 主な職務内容等	
9	⑪	実(研)	実(研)	教授	イケダ キヨヒコ 池田 潔彦 <平成33年4月>	32年 6月	昭和61年4月 ～ 現在に至る	<p><静岡県職員></p> <p>1 静岡県林業試験場技師 ・林業関係者、一般県民等を対象とした出前講座 ・開発した技術手法、木材製品、建築等での木材利用技術の普及・広報 ・静岡県立農林短期大学の学生指導</p> <p>2 静岡県立林業技術センター副主任、主任研究員 ・林業関係者、一般県民等を対象とした出前講座 科学研究費助成事業“環境条件の影響を考慮した木質構造へのDOL効果の解明” 農林水産研究高度化事業”公的認証取得を可能とする高信頼性接着重ね梁の開発 ・開発した技術手法、木材製品、建築等での木材利用技術の普及・広報 ・静岡県集成材工業界の香暮らし推進事業 構造用集成材ガイドブック作成編集委員 ・日本住宅・木材技術センター 住宅資材性能規定化対策事業 委員 ・森林・木質資源利用先端技術推進協議会 森と木の先端技術情報誌 (APAST) 編集委員 ・静岡県合板工業会 住宅における地域材新規需要開拓促進事業 (スギ合板) 協議会委員 ・しずおか優良木材認証審査委員会 委員 ・しずおか優良木材供給センター 検査アドバイザー ・持続性木質資源工業技術研究会 運営幹事 ・浜松市バイオマス利活用推進計画策定委員会 委員 ・静岡県立農林大学の学生指導</p> <p>3 静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター主任研究員、研究主幹 ・県内の木材、木造住宅関連の企業団体との共同研究、調査技術指導 ・森林・林業、木材林産業、木造建築企業及び一般県民向けの研修会講師 ・日本住宅・木材技術センター 住宅資材性能規定化対策事業 委員</p> <p>4 静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター木材林産科長、森林資源利用科長 ・若手研究者の指導 ・生産者等関係機関との調整 ・全国木材組合連合会 国産材2×4部材開発事業委員会 委員 ・日本住宅・木材技術センター 住宅への地域材利用活用事業委員会等 委員 ・農林水産技術会議 “新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業 “CO2ヒートポンプを用いた木材乾燥装置の開発 ・科学研究費助成事業 “パルス波と高周波を用いた新しい積積み製材の個別含水率検出手法の開発 ・農研機構生研支援センター 革新的技術開発・緊急展開事業 (うち先導プロジェクト) 要求性能に応じた木材を提供するため、国産大径材丸太の強度から建築部材の強度を予測する技術の開発 ・農研機構生研支援センター 革新的技術開発・緊急展開事業 (経営体強化プロジェクト) ”原材料の安定供給による構造用集成材の低コスト化技術の開発 ・静岡県立農林大学の学生指導</p>	<p>保有学位：博士 (農学)</p> <p><研究業績> ・平成24～26年度 科学研究費助成事業 “パルス波と高周波を用いた新しい積積み製材の個別含水率検出手法の開発 ・平成28年度～現在 農研機構生研支援センター 革新的技術開発・緊急展開事業 (うち先導プロジェクト) 要求性能に応じた木材を提供するため、国産大径材丸太の強度から建築部材の強度を予測する技術の開発 ・平成30年度～現在に至る 農研機構生研支援センター 革新的技術開発・緊急展開事業 (経営体強化プロジェクト) ”原材料の安定供給による構造用集成材の低コスト化技術の開発”</p> <p><受賞歴> ・平成7年3月 林業科学技術振興賞 (財) 林業科学技術振興所、地域産業活性化のための技術開発 「-立木から構造用集成材製造に至る一連の技術開発-」 ・平成9年3月 全国林業試験研究機関協議会研究功績賞「全国林業試験研究機関協議会、地域産針葉樹材の利用技術開発」 ・平成13年6月 静岡県職員表彰「立木の材質評価技術と地域針葉樹資源の利用促進」 ・平成15年3月 日本木材学会技術賞「針葉樹林分の立木材質評価技術とその適用技術に関する研究」 ・平成23年4月 日本木材学会地域学術振興賞「静岡地域における地域材利用技術の研究・開発および木材産業への成果の普及に関する貢献」 ・平成24年10月 日本木材学会中部支部優秀研究発表賞「静岡県産スギ・ヒノキ “B材” 原木を原料とした複合木質構造材の開発」 ・平成26年3月 静岡県経済産業部長賞「木造建築用材を外材から県産材へ転換する製品創出技術の開発」</p>

実務の経験等を有する専任教員数	9人
うち「実(研)」の人数	6人